

## 第4回白石町総合計画審議会 会議録（要旨）

■日 時 令和3年10月20日（水）午後7時00分～午後9時00分

■場 所 白石町役場庁舎3階大会議室

■出席者 委員：17人出席

町：副町長、総合戦略課長、長寿社会課長、企画財政課職員5人

### 【開会】

○事務局

本日、2名の方はあらかじめ欠席連絡を受けている。

### 【会長挨拶】

○会 長

日中は暑い日が続いていたが、ようやく16日ぐらいから20度以内の気温になってきたかなと思っており、朝晩はめっきり寒さを感じる季節になってきた。

今回の審議会も、前回同様、分野毎の審議進行になっているので、活発な意見をいただきたい。

### 【審議事項】

○事務局

審議事項については、会長に進行をお願いします。

○会 長

審議事項の1番目、第3次総合計画策定に関わる調査結果に基づく審議を議題とする、事務局から説明と進行をお願いします。

○事務局（進行）

前日も説明したが、いただいた意見の取扱いについて説明をする。町の総合計画が基本計画、実施計画で構成をされているが、大局的な意見から

詳細な意見までいろんな意見を審議会ですべての意見について事務局で取りまとめをして、大局的なものは基本計画に反映、詳細なものは実施計画に反映するという形でどのように反映するかを示したい。

＜資料 第3次白石町総合計画策定に関わる調査結果に基づき事務局より現状と課題や現在の取組、考えられる主な施策等の説明を行い委員より意見聴収、議論を行った。＞

### **【水産業の振興】（資料48ページから49ページ）**

#### ○委員

実は去年の米が残って今年も米価が落ちている。ノリも一緒に米が売れないとノリも売れないので、大分残りがあるといふことで、今年もノリも大分危惧されている。そんなに採れても販売がどこまでいくのかといふことを言われている。その辺が今一番ノリをされている方たちの現状じゃないかなと思っている。要するに、コロナの影響で販売が減っている分を行政がどのように支援していくのかを今後考えていただけたらと思う。

#### ○事務局（進行）

ありがとうございます。この点については、意見として参考とさせていただきます。

### **【商工業支援】（資料50ページから51ページ）**

#### ○委員

商工会青年部で定例会があり、その中で部員に意見を求めた。その中で意見があったことをここで述べさせてもらう。

先々のことというよりも直近のコロナとか現状の各事業所の悩み等が主だが、まず、コロナが終息したときに従来どおりに復旧が難しい業種や業

態があると考えるので、従来どおりに戻るためにどういった対策をしているだけなのかという意見があった。また、特に建設業、建築業が主になるが、コロナによって材料費がすごく高騰していて、見積り段階ではそこを踏まえてなかったが、着工時にどうしても費用がかかってしまい、注文時のキャンセルや事業者がそのまま負担をせざるを得ない場合が出てきている。こういう事態に対しての助成等があれば助かるという意見があった。

コロナ関係以外では、現状の悩みとして、最低賃金が改定されて人件費が増加して、経営側からしたらとても負担が大きい。人材不足にも困っている現状なので、雇入れづらい環境になっている。町から雇用に対してもう少し人を雇いやすいような形で助成があればという意見があった。

求人を出してもなかなか就職希望者に来てもらえない現状があり、その辺でも求人に対する広告とか、人材確保の助成や支援が町のほうからしてもらえないかという意見がある。求人に関しては、町か商工会を通して小さな規模でもいいのでどこか場所を提供していただいて、企業説明会をしてもらえないかという意見が出た。

#### ○事務局

いわゆるアフターコロナ対策については、町としても本当にどういった対策が必要なのか十分検討をしていく必要があると思っている。国の経済対策の状況等も十分見ながら、コロナの終息後の経済対策については町として対応していきたい。

建設資材がかなり高騰をしているという状況は我々も認識をしている。これについては白石町だけの問題ではないと思うので、国や県の動きを見ながら対応したい。

最低賃金の問題にしても、賃金を上げれば雇用で経営が苦しくなるが、賃金を上げないと求人が来ないという部分があると認識している。求人の企業説明会ができないかという話があったが、町としては商工会といろいろな話をしているので、そういった意見等もあれば、どういった対応策がとれるか十分検討したい。

特にコロナ終息後の経済対策等についても十分考えていきたいと思って

いる。

#### ○事務局（進行）

この項目に対して他に意見はないか。

#### ○委員

後継者問題について、小売店で後継者がなく、その代で終わるという方が多いのが現在の商工業の現状。この方たちが亡くなると地域にあったスーパーもほとんど閉まってくる。それで、買物をするところがないというお年寄りの方がいて、現在Aコープで「とくし丸」を運営されているが、結構評判で、お年寄りの方も利用をしている。その辺を商工会も何かお手伝いできないかなというのがある。

ただ、商工会も、以前国からの助成金があったからということで移動販売をやったが、助成金が終わったらやめることになった。助成金があるからやるのではなく、自分たちがやろうという気持ちを持たないとできないということを商工会の理事会でも言っている。

#### ○委員

私も家を継ぐために白石に戻ってきた。後継者不足でその代で店を閉める事業者さん達は、お店を続けていくために外部から人を受け入れる気持ちはあるのか。自分たちの代でお店を閉めると思っている人もいると思うが。どちらの意見が多いのか。

#### ○委員

確かに子どもはいらっしゃるが、今の経営というのは利幅がすごく減った。さらに年中無休。廻里津の商店街は、今までなかった定休日を作っている。それで商売をしてきたが、利益も上がらないし休みもない状態で子供に継がせたくないという思いがある。だから子供さんをよそに就職させている現状かなと。後継というのはなかなか難しいと思う。

○委 員

受入れ側がウエルカムだったら成功事例が一つあり、広告代理店等が入り「絶メシ」というPRを出したところがある。その商店街の飲食店は少子・高齢化で後継ぎもない。それを逆手に取って今の代でなくなる、絶滅する食事で「絶メシ」というPRを行い他県から若者を呼んだ例があった。

○委 員

白石では実例がないが、江北は旅館がある。おばあさんが経営していたが、後継者がいなかった。それを地域の青年部がそこを利用して宿泊ができるような形にして、活用している。青年部におられる方が、自分たちで知恵を出してやっている。江北町はユーチューブで発信をしている。白石でも各事業者さんたちが自分たちの仕事ぶりをユーチューブで流せば、ある程度若者の目に映ると考える。

○委 員

観光の分野でもお話ししようと思っていたが、沿岸道路が開通して、道の駅にはたくさんのお客様がお見えになっている。その中で商工会に加入してあるいくつかの事業所も会員になって出品されている。有明海沿岸道路が開通するまでは売れてなくて、なかなか動きが悪かったが、開通した後の現状を見ると、とにかく売れている。道の駅としては、町内にはほかのお店もあると思うので、そういう中で商工会のメンバーがもうちょっと会員になってもらい、どんどん道の駅を利用してもらえれば売上げも出てくると思っている。

○委 員

若い人は郊外の大型店舗の商業施設を非常に活用されていると思う。そういうところと競争は恐らく厳しいと思うので、地元は地元なりの何かを生かしたアイデアを持った商売をすることが必要だと思う。先ほども話がでていたが、近くに買い物するところが無く買い物に行けな

い人が非常に出てきている。そういうところに向けて、白石町の商工会さんとして何かやっていただけないかなと思う。

企業説明会をぜひ町としてはやっていただきたい。商業に限らず、今は農業面でも漁業面でもあらゆる職種において人材が不足をしているという実態がある。人材がなかなかおらず、地元内で募集をかけているが人は集まらない。

## 【観光進行】（資料54ページから56ページ）

### ○委員

観光分野は、先日テレビで魅力度ランキングが発表されており、佐賀県は全国で46位ということだった。特に白石町に関しては農業の町なので、農業を通して何かプラスして観光をしていくのか等、様々な課題が出てきている。

農業の町なので、農業、水産業を前面に打ち出して、ほかに神社仏閣等いろいろあるが、そういうところとコラボして体験をしていただいたり、見学に行ったり、春まつりのときは歌垣公園に行く等、一緒にコラボしたような形で農業、水産業と一緒にしたような観光の形というのはどうなのかなど。白石町には観光協会がないこともあり、観光面が弱い。観光する場所、神社仏閣などの地元の人に愛されている場所、人をどうやってそこに呼び込むかというのが今後の課題になってくる。

有明海沿岸道路が7月24日に開通し、3か月近くがたった。かなりの方が来ているが、その中でも、日曜日は家族連れ、小さい子供を連れて、ちょっと有明海沿岸道路を通って見学に来ました、何か見物するところはないですかというような感じで、前もって電話をされる方もいる。何かその辺で見学するところはないでしょうかということでご相談されてから来られる方もいるので、そういうお客様たちを今後どうやって白石町内に呼び込むかということが一番の課題になってくると思う。

道の駅もお客様が増えて土日はほぼ完売状態になる。なにもない状態でお客さんは呼べないので何をどのように売っていくかは今後の道の駅の課

題となってくる。

道の駅でも情報コーナーの発信ということで、観光情報のパンフレットやマップをいろいろ置いてもらっている。さらに、デジタルサイネージ（ディスプレイを通じてさまざまな情報を発信するシステム）で白石町の産物のPRだとか、今は有明海沿岸道路の開通の様子が映し出されており、結構立ち止まって見られている人もいたので、そこを利用して、県内、県外の方たちにもPRができたらと思っている。マップやデジタルサイネージの放送を見ても説明者がおらず、見るだけで終わってしまっているので、そういうお客さんを呼び込む方法を検討する必要がある。観光農園やマルシェ等の定期的なイベントの開催も良い。2階に会議室があるので小学校で作った作品を飾る場、町内や県内出身の方の何か発表の場として使っていただき道の駅をどんどん利用して欲しい。

前回の審議会で子育て世代の方たちからいろいろお話が出ていたが、私も孫がいて、日曜日は公園に遊びに行っている。その中でもマイランド公園が近くにあるが、私が子育てしているときからみると遊具がどんどん減っている。たったこれだけの遊具しかないと感じる。せつかく道の駅の近くにそういう大きな公園があるので、さらなる充実を検討されてみてはどうか。マイランド公園も広い設備があるので、オートキャンプ場等を今後整備されていってはどうかと思う。それによってまた白石町が発展して、今日は白石町のここに行ったけど、明日はあっちの山手のほうにも行ってみようとか、そういうふうなお客さんもどんどん増えてくるのではないかな。

#### ○事務局（進行）

今後いろんな取組が進んでいくと思うが、この分野で意見、感想があれば、願います。

#### ○委員

白石町には、10キロの公認コースがある。コースを活用したイベントを実施して欲しい。

また、白石町の全周に道路があるが、湾岸から稲佐山のほうにかけて、トイレの充実やトイレのマップ等を作成しマラソンコースまたはサイクリングコースにできれば、観光客が来るのではと考えた。

#### ○事務局

歌垣のロードレースで使っている10キロの公認コースを使つてのイベント、サイクリングコース等の整備という話に関しては、スポーツのまち宣言もしているので、その中で参考にさせていただく。

#### ○委員

白石高校や佐賀農業高校の生徒達が六角地区を走っている。そういうところを走るのであれば、高校生のマラソン大会や中学生の大会も開催できると考えた。

### **【高齢者の社会参加・高齢者福祉の充実】**

(27ページから28ページ)

#### ○委員

まずは、高齢者の社会参加、福祉の充実についてということで、高齢者から聞こえてくる町への要望としては、老人クラブで使用しているときの町のマイクロバスの無料化、または低料金化、出前講座の充実などがある。

また、高齢者の2人暮らしの家を民生委員さん等が手助けやお世話をしてもらえないかという声があり、現在、老人が老人を介護する老老介護の世帯が多いのでそういう世帯の救済をお願いしたいという声がある。

次に、老人クラブの課題と今後の展望についてだが、生きがいのある暮らしや充実した暮らしをどうすれば実現できるのか、結論は出ていない。今後取り組んでいきたい。

また、高齢者を取り巻く問題として、デジタル化社会への対応や交通安全等があげられる。

#### ○事務局（進行）

ありがとうございます。町に対する要望のところは後日取りまとめで、できるところできないところの話をさせていただきたい。老老介護の話で、会長が民生委員の代表なのでご意見を願います。

#### ○会 長

健康サロン関係で社協の現状では、公民館単位で推進しており、現在、公民館が約100か所ある中で、だんだん増えてきており、サロンとして活動しているところが約50%、50か所ぐらいある。

「かせすっけん事業」で、高齢者や独居老人の方に「かせすっ隊」を立ち上げて活動をしているが、隊員さんは約50名いる。そして、その「かせすっ券」の利用している方が73名ぐらい今おられて、この活動についてはごみ出し等様々なことで令和2年度において214回利用をされている。

先ほど、マイクロバスの話があったが、送迎の時間帯の空いているときには社協のマイクロバスも活用していただいているので、老人会もぜひ活用をしていただきたい。

独居老人や独り暮らしの方たちへ私たちが民生委員として活動をしているが、特に災害等で避難をする必要があるときには、独り暮らしや独居の家には出向いて必ず連絡をしているが、今年度は避難が少ない状況であった。独居老人の支えやお手伝いというのは限られているので、なかなか私たちが踏み込んでいけない、民生委員の中でも話をしていければなと思っている。

#### ○事務局（進行）

民生委員という立場と社会福祉協議会の立場ということでご意見をいただいた。

先ほどの委員の意見については、老人クラブ連合会のほうからの要望書等も頂いているので、検討をさせていただければと思っている。

## 【障がい者福祉の充実】（29ページから30ページ）

### ○委員

私も身体障がい者になるが、身体障害者は令和元年度が白石町で1,448名いて減少傾向にある。しかし、知的障害者手帳所持者は約280名で、年々増加している。精神障害者手帳所持者も153名で増加している状態。

私が身体障害者福祉協会の会長をしており、以前は手帳を交付された方の情報が私たち地区役員のところに来て、その家族の方に協会の話をして勧誘をしてきた。ところが、個人情報保護法ができてから、私たちに情報が来なくなっている。

そういう中で、町からの助成を協会に頂いて、今手帳交付している全員を対象にしたゲートボールとグラウンドゴルフをおととしまでやっていたが、このコロナでそれができない状況で、今後またコロナが収まったら手帳交付者全員を対象にしたスポーツイベントをやっていきたいと考えている。

身体障害者の方だけのことを言ってきたが、知的障害と精神障害の方の親御さん、一番心配なのはその子供さんたちを見られている親御さんが亡くなったとき。残された子供さんたちの介護等の面倒をだれが見るのかを一番心配されている。身体障害者の方は自分でできるが、精神と知的のほうに関しては今後を親御さんたちはすごくそれを心配されているので、何か政策的にできればいいかなと思っている。

### ○事務局

委員から大きな課題として挙げていただいた障害者の保護者の方が亡くなった後の対策という大きな課題は、町のほうでも認識をしている。このことについては、障がい者基本計画を今年度に策定する予定なので、その中でも大きなテーマとして取り扱っていきたいと考えている。

#### ○事務局（進行）

他に意見等がある委員さんがいればお願いします。

#### ○委員

医療費の助成はあるのだが、重い症状の人はずっと助成が続くが、案外軽い症状の人は、何年かで助成が打ち切られる。その後は当たり前前に病院にお金を払っていかないといけないので、なかなか病院に行かない人が結構出てきたりする。そしたら、せっかく症状が回復していても、結局また元に戻るというふうなことがあるのではないかと思っている。私も実は難病指定を受けていた。ただ、5年ぐらいで病院の診断書がある程度よくなったところで出なくなり、指定もそこで打ち切られてしまう。その後も実は大変な経験をしたので、そういうところが町のほうでも何かご支援していただければ。

#### ○事務局

基本的には難病指定については県のほうが指定をされていて、その情報はなかなか町のほうまで届かないというのが現状である。災害時の避難行動要支援者の中で、難病の方についても避難行動要支援者ということで今後避難計画等の検討をしていかななくてはならないと思っている。

### **【男女共同参画社会の構築】（41ページから42ページ）**

#### ○委員

私たちみらいネットの会は、男女が互いに認め合い、みんながその人らしく生きるための社会づくりを目指し、活動している。17項目あるSDGsの目標の中の、5番目の「ジェンダー平等を実現しよう」にあたる活動になる。

ここでジェンダーという言葉が出てきたので、参考までに、日本のジェンダーギャップ指数ランキングは156ヶ国中120位、そして政治の分野においては147位で、日本はランキングの下位にある。また、ランキ

ングついでに、白石町の女性職員の管理職の割合は県内の20市町の19位で、残念な結果となっている。この審議会の資料にも下回っていると書いてあるが、町内の事業所のよきモデルとなれるよう、環境づくりができたらと思っている。

やはり、男女共同参画は、長年の考え方、行動、習慣の積み重ねは容易に取り除けない。また、世代間のギャップも多くあると思う。現在は学校教育にも取り込まれ理解されていると思うが、実際一步社会に出てから職場、組織、地域でその理念が十分に発揮できる環境なのか疑問。最近では、若い世代は家庭内ではお互い協力し合い、男性の家事、育児参加も徐々に増えている。

みらいネットの会の今後の課題として、①行政との協働、②心豊かなまちづくりへのお手伝い、③各団体や個人との交流促進を掲げている。防災研修会や茶話会を開催しており、この防災研修会はずっと前から実施しており、今年は被災された武雄市の方で防災士と民生委員の方のお話を聞いた。茶話会は、白石町内で輝いていらっしゃる方、活動されている方の話を聞く会で、今度で12回目になるが、女性の住職の方、田んぼのミュージシャンやケーキ屋さん、歯医者さんをお呼びして話を聞いてきた。今年も女性の地位向上ということで、武雄市で女性の区長さんをしていらっしゃる方の茶話会を予定していたが、コロナや大雨の影響でまだ今年は実施できていない。

そして、白石町女性団体連絡会の設立を目指して活動しているが、これは現在6団体の女性部から成り、女性の考え方や発言を生かす場を増やすこと、そして各地区、地域で女性が役割、役職に就くことで、男女が共感し合える地域となることを目標としている。実際ワークショップをしたときに若い女性の方がおられて、初めて参加するので緊張すると言われていたが、最後はとても勉強になりましたと帰って行かれていた。小さなことから日頃の小さな疑問や違和感をぶつけ合うことによって、連帯意識も生まれるのかなと感じている。

SDGs活動への取組については、去年も佐賀の地球市民の会の方を講師に招いて研修しましたが、とても分かりやすく解説していただき、私

たちもとても勉強になり、今後もずっと続けていきたいなと思っている。

#### ○事務局（進行）

ありがとうございます。みらいネットの会員様はいろんな取組をずっとしてきていただいている、最近の一番大きな取組としては、先ほども言われました女性団体連絡協議会の設立というところが非常に大きいと思う。補足や取組等何かないか。

#### ○委 員

私もみらいネットの会で活動をしている。女性団体のことを言われたが、みらいネットの会はもともと女性が主な団体の集まりだったが、最近では男女共同参画に特化した勉強会が主になり、団体同士のつながりがちょっと薄れていたのを、改めて去年から立ち上げて、みらいネットを中心に漁協、商工会、みらいネットの会、農業団体等の団体を含めながら、ワークショップを1年間で2回やっている。こういうところで皆さん女性の方、声を上げられてすごいなと思いながら聞いているが、発言が出来る場に来ると皆さん発言をされる。今回はみらいネットの会で区長さんと呼ぼうと計画している。女性の区長さんは白石町にはいらっしゃらない。町内には女性の公民館長さんが1人いらっしゃるが、区長さんまでなるのには至ってない。そういった経緯から話を聞いたりしながら、自分たちの意識の啓発をして活動をやっている。

審議会や委員会等に占める女性割合が32%に去年ぐらいから上がっている。それまでは30%を目指すというところだったが、32%になっているので、今回は町のほうで40%を目標にしてもらっている。とてもうれしく思っている。

議会の中でも役場の管理職の女性割合についていつも声を上げられていて、私に限らずほかの方もとても管理職のことについては声を上げている。しかし、この10年間ぐらい、全然変わっていない。ほかの市町はどんどん上がっているが、そういうところを改善できたら白石町もいいのかなと思っている。徐々になのかもしれないが、他の市町に負けないように

白石町もこういうところからも声を出しながらやって欲しい。管理職に女性がいらっしやることは、ほかの女性の職員さんにとってもモデル的になるのでとてもいいじゃないかと思う。管理職に女性もいないのに、あの人に追いつこうとか、あの人に負けないように頑張ろうとかという、男性も一緒ですけど、男性は管理職の方を見ながら、ああいう男の人になろうとか、そういう目で見えていらっしやると思う。力を入れてほしいなと思う。

#### ○事務局（進行）

男女共同参画という分野は、国を挙げた取組でもあるし、日本のいろいろな文化等との兼ね合いもあるので、なかなか一足飛びには実現しないところもあるが、行政内部や審議会、そういったところから割合を増やしていくことも非常に大事な取組だと思う。地道にやっていく必要がある。

#### ○事務局

ご指摘いただいた役場の女性管理職の登用が少ないということで、5%という割合は20人中の1人で5%。非常にこの件については白石町役場の課題である。そういったことで、何とか増やしていけるようにここ数年、女性職員を対象にしたキャリアアップの教育や研修を毎年続けてきている。そういったことで、ぜひ女性職員の皆さんにそういった気持ちになってもらえるように今後も研修のほうを頑張っていきたいと思う。そして、できるだけ多く女性管理職を増やしていきたい。

#### ○事務局

女性の管理職について、年齢構成の中で50代の前半から中盤、これが管理職になる白石町での主な年代であるが、この年代の構成人員が非常に少ないところもあり、家庭の事情等でなかなか手が回らないという部分も実際にある。そして、女性が活躍できるような職場、この意識の醸成というのも非常に大事だと思うので、研修を含めて行っていきたい。

第3次男女共同参画推進プランということで、今年度の4月に推進プランを立てている。この中で、総合計画の審議会も女性の率は40%を超え

ているが、審議委員会における女性の割合、40%を目指して頑張りたい。先ほど委員さんのほうから女性の方の情報交換の場が少ないというお話があったが、女性団体連絡会推進に向けてみらいネットの会と一緒に頑張らせていただいているが、コロナ関係で協議のほうがストップしている状況であるが、できれば今年度、または来年度前半までにはぜひ女性団体連絡会の設立に向けて全力で支援させていただきたい。

#### ○事務局（進行）

⑦その他の施策分野について、今回もかなり意見を出していただきおり次回以降に持ち越して意見を聞いていきたい。

前回の審議会で質問があっっていて回答を保留していたものについて、まず資料の20ページの母子世帯の推移の部分で、父子世帯は数値に入っているのかということで質問があっていた。こちらには父子世帯の数は含まれていない。本日手元に父子世帯の数まで入れた資料を配っている。

もう一点、独り親家庭のための学習支援ボランティア事業の児童・生徒の参加数とボランティアの登録数を教えて欲しいとのことだったので資料で確認してもらいたい。

以上で（1）調査結果に基づく審議を終了する。進行を会長に戻す。

#### ○会 長

（2）その他について委員よりあるか。

（「なし」と呼ぶものあり）

ないようなので、事務局へ進行をお返りする。ご協力ありがとうございました。

#### ○事務局

事務連絡になるが、次回の審議会は11月10日の水曜日を予定している。次回までテーマ毎の審議をお願いします。

### 【閉 会】

○事務局

本日は活発なご意見をありがとうございました。

また次回もたくさん意見を出していただきたい。これで第4回白石町総合計画審議会を終了する。